

## 【ぶらぶらトンボ】今年もトンボの羽化始まる ～ 貨物船の森緑道で観察 ～

4月25日(土)、JFEトンボみちからチャリンコで10分くらい、貨物線の跡地につくられた公園「貨物線の森緑道」の仮設ビオトープにぶらぶら出かけました。目的は、トンボの羽化の観察です。毎年この時期になると、シーズンの先頭を切って、クロスジギンヤンマ(以下、クロギンと略します)の羽化が多数確認されるのです。

仮設ビオトープは、ひとつが縦4mx横3mx水深30～50cmの長方形の

ビニールプールで、公園愛護会が2014年に2個設置したものです。そして昨年、某企業から2個移設されて、現在は計4個設置されています。



貨物線の森緑道の仮設ビオトープ

### クロスジギンヤンマ(雌)の羽化

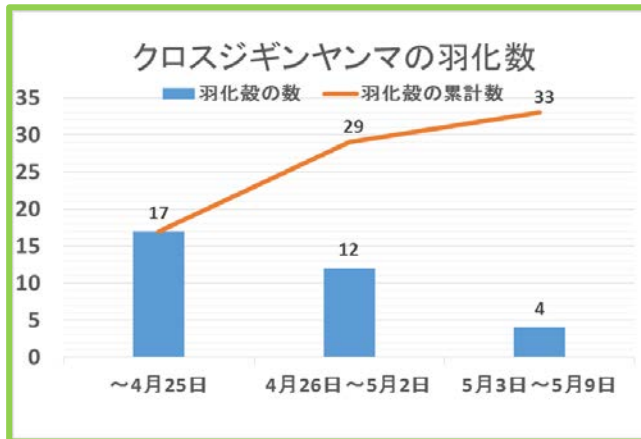


午前11時に到着してすぐにビオトープの水草の茎に大きな羽化殻が1個くっついているのを見つけました。それを壊れないように取って紙箱にしまいます。いっしょに参加した仲間たちもつぎつぎに羽化殻を見つけられました。

そうしているうちに羽化してまだ茎にしがみついているトンボを見つけました。クロギンの雌です。初めは4枚の翅を1つに重ねていましたが、やがて大きく4枚に開いて、ときどきバタバタと翅を震わせていました。そしてついに空中に一気に飛び上がり、近くの2階建ての建物の屋根を超えて見えなくなりました。時計を確認すると11時40分でした。

また、羽化中に翅が十分に伸びきれないでそのまま動けなくなっているクロギンが2頭見つけられました。水草の繁みの中で羽化をしようとしたため、翅を伸ばし切るスペースが足りなかったための不幸なアクシデントです。

結局この日は、クロギン17頭の羽化殻を採取することが出来ました。5月2日と9日にも同じようにすべての羽化殻の採取を行ない、計3回の観察結果を、クロギンの羽化数としてグラフにまとめました。 ～ 2面へつづく ～



グラフから明らかのように、クロギンの羽化は、5月上旬で終了に向かってい  
ます。羽化の最盛期はいつなのか、羽化が  
何日から始まるのかも知りたいので、来  
年はもっと早い時期から観察してみたい  
と思います。企業から2個のプールを移  
設する際に、ヤゴも救出して持ってきま  
したので、今年の数量はその影響が出て  
いると考えられますが、来年どのように変  
化するかも興味があります。

今回の観察中、クロギン以外にショウジ  
ョウトンボとイトトンボ類も少数ですが確  
認出来ました。これから季節が進めば、  
シオカラトンボやギンヤンマなどの羽化  
も期待できます。

ここは、工場や倉庫に囲まれた京浜臨海部の小さな仮設ビオトープですが、間違いな  
く多様な生きものが息づいている場所です。(銀 (^) /)



クロスジギンヤンマ(左)と  
ショウジョウトンボの羽化殻

## (シリーズ) トンボみちの仲間たち

4月～5月のトンボみちの様子です (撮影: 柴田さん)

※新型コロナウイルス対策で、4月のファンクラブ活動は中止となりましたので、近況をお伝えします



5月9日のトンボみち



**活動予定** ※雨天は1週間延期  
 今月: 5月23日(土) 中止します  
 来月: 6月27日(土) 9時~11時  
 事前の申込みは不要です。誰でも参加可能!  
 公式ホームページをご覧ください

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2020年5月号  
 発行日: 2020年5月20日  
 発行者: トンボみちファンクラブ  
 連絡先: ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821  
 ◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています



京浜の森ロゴマーク

※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング(株)が地域の皆様に開放している公開緑地です

トンボみちファンクラブ 検索